



パンフレット No.AW011
2016年11月改訂
工 業 用

無起泡性白場汚染防止ソーピング剤

センカノール A-900

(SENKANOL A-900)

センカノールA-900は広範囲の染色物の白場汚染防止・堅牢度向上に効果的なソーピング剤です。特にカチオン染料で捺染された<アクリル、CDエステル、アクリル/ウール混、CDエステル/ウール混、CDエステル/レギュラーエステル混>、分散染料で捺染された<ポリエステル、トリアセテート、CDエステル、アセテート>のソーピングに効果を発揮します。

性 質 ・ 性 状

外 観	暗褐色液体
成 分	特殊アニオン界面活性剤
イ オ ン 性	アニオン
pH	約7.0 (1%水溶液)
溶 解 性	任意の割合で水に溶解します。

(上記の数値等は代表値であり、規格値ではありません)

特 徴

1. カチオン染料とのイオンコンプレックスを形成することで、未固着染料による白場汚染を防止します
2. 分散染料に対する分散性に優れており、ソーピング浴中に脱落した染料による白場汚染を防止します。(特にキノン系染料に有効です)
3. 起泡性が極めて少ない洗浄剤です。
4. 白場への着色(黄変)や耐光堅牢度の低下がありません。

使用 方 法

ソーピング浴中あるいは還元洗浄浴中に 1 ～ 3 g/L を使用します。
 捺染布はそれぞれの繊維の持つ物性、使用された染料の特性によって、温度を設定します。また洗浄の時間は設備によって異なりますが、特に加温下で生地が同一浴中に長く留まるほど＜白場への汚染＞は大きくなりますので注意が必要です。

参 考

捺染におけるソーピング工程では、繊維上に残存している未固着染料、糊剤、捺染助剤等が除去され、その結果、色相の鮮明化、風合いのソフト化、堅牢度向上等が達成されます。

一般に洗浄は次の様な連続あるいはバッチ式の工程で行われます。

一次水洗	生地上の残存色糊を水で膨潤させ除去し易い状態にします。	膨潤した色糊は、＜打ち合い＞が発生し易いので拡布状の設備が有効です。	ボックス型 コンベア型 オープンソーパー
二次水洗	浴の温度及び物理的な効果：噴射、振動などで強制除去します。	脱落した染料が白場を汚染しない様に拡布状の設備が有効とされます。	パイプロ式 サクション式 シャワー式 ジェット噴流式 オープンソーパー
ソーピング 還元洗浄	繊維、染料の特性に応じた条件で界面活性剤、還元剤、アルカリ剤などを使用してケミカル的に除去します。	繊維の形態、色糊の付着状態などで、ロープ状（ロープじわに注意）あるいは拡布状の設備かを選択しています。	液流型 ウインス オープンソーパー
湯洗・水洗		絵際からの＜泣き出し＞が起こらない様、充分に水洗します。	ウインス オープンソーパー



実 施 例

1. アクリル繊維/カチオン染料の捺染布

糊落とし・水洗 → ソーピング → 湯洗・水洗
40～50℃
センカールA-900 1～3g/L
(ソーダ灰 0.5g/L併用)

2. アクリル/ウール混、CDエステル/ウール混(ウール30%以下)/カチオン染料の捺染布

糊落とし・水洗 → ソーピング → ソーピング →
40～50℃ 60～70℃
センカールA-900 1～3g/L センカールA-900 2～3g/L
(ソーダ灰 0.5g/L併用)

→ 湯洗・水洗 → フィックス処理
カチオンフィックス3A 3% o.w.f.
40～50℃

*カチオン染料のウール汚染が大であるためフィックス処理をします。

3. CDエステル、CDエステル/レギュラーエステル混/カチオン染料の捺染布

糊落とし・水洗 → ソーピング → *場合によっては
還元洗浄
センカールA-900 1～3g/L センカールA-900 1～3 g/L
40～50℃ ハイドロサルファイト 2 g/L
ソーダ灰 50～60℃ 0.5 g/L

→ 湯洗・水洗



センカール A-900

取扱いおよび保管上の注意事項

- 1) 取扱い中は、直接身体に触れないように保護手袋、保護メガネを着用して下さい。
- 2) もし誤って眼や口に入ったときは、直ちに流水でよく洗い流し医師の手当てを受けて下さい。
- 3) 皮膚に直接触れた場合は、直ちに流水でよく洗い流して下さい。もし発疹その他の異常が生じた場合は速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 4) 取扱い後は手洗い、うがいを充分に行ってください。
- 5) 使用途中の容器は密閉し、異物が入らないようにして下さい。
- 6) 保管に際しては直射日光を避け、冷暗所（5℃～35℃）で保管して下さい。
- 7) 廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。

お 願 い

弊社発行の「製品安全データシート（SDS）」を用意しております。併せてご活用下さい。